

平成29年度第1回平塚市下水道運営審議会 会議記録

日 時 平成29年7月19日（水）10：00～11：45
場 所 平塚市役所本館3階302会議室
出席委員 秋山会長、宮林会長職務代理者、野崎委員、西田委員、矢板委員、
小澤委員、大伴委員、山口委員、田下委員、石黒委員（計10人）
事務局 土木部 石田部長
土木総務課 細谷課長
下水道経営課 古矢課長、舩田課長代理、田村課長代理、渋谷課長
代理、石橋主管、岩崎主管、川口主事、伊豆主事
下水道整備課 石井課長、阿部課長代理（計12人）
傍聴者 0人

（議題）

- 1 下水道事業の概要について
- 2 平塚市下水道中期ビジョン（改訂版）策定について（報告）
- 3 平成28年度下水道事業決算について
- 4 その他

配布資料

資料1 下水道事業の概要について
資料2 公共下水道使用料の検証
資料3 平塚市下水道中期ビジョン改訂版
資料4 平成28年度平塚市下水道事業決算について
参考資料 平塚市下水道運営審議会規則

- 開会に先立ち、落合市長からの委嘱状交付及び挨拶
- 会議の公開について事務局から説明
- 委員及び事務局の紹介

会長及び会長職務代理者の選任のため、土木部長による議事進行。
互選により会長に秋山委員、会長の指名により会長職務代理者に宮
林委員を選任。就任にあたり、会長及び会長職務代理者それぞれ挨拶。

これより会長による議事進行。

会長

まず、議題の（１）からになります。

「下水道事業の概要について」、事務局から説明をお願いいたします。

（１）下水道事業の概要について

事務局（下水道整備課課長代理、下水道経営課課長代理）

下水道事業の概要について、パワーポイントを用いて資料１から２をもとに説明。

会長

皆さんの方から、何か今の説明に対して、質問あるいはご意見等ございましたらどうぞ。

委員

直近の下水道料金の改定時期はいつだったでしょうか。

事務局

平成２０年４月１日が最後の改定になっております。

委員

近隣の整備率というのは、伊勢原、厚木、大磯、二宮あたりはどの程度なのですか。平塚は高い方ですか、低い方ですか。

事務局

近隣市におきまして、平成２８年３月３１日現在での公共下水道人口普及率は、大半の市は市街化区域のみの公共下水道整備でありまして、平塚市は市街化調整区域も整備をしておりますので、一概に比較はできませんが、高い数値となっております。茅ヶ崎市で言いますと９５．５％、厚木市で言いますと、８９．３％、伊勢原市で言いますと７７．１％です。

委員

それともう一点よろしいですか。

受益者負担金についてご説明いただきました。その場合、新規に事業をやる場合１㎡あたり３６６円いただきますというご説明でしたけども、もう既に市街化区域で家を建てれば直結できるような部分あります。若干、不公平のような感じがしないでもないのですが。

事務局

受益者負担金について、第5期、第6期と直近のものを説明させていただいたのですが、この平塚駅周辺のところから開始しました時に第1期というような単価がございまして、それを一度賦課させていただいております。それを段々広げていって、最初に下水道が通る所はどここの土地に関してもいただいているという形になっております。新しい所だけをいただいているのではなくて、今まで整備した所は全ていただいていたという形になってございます。

委員

新規に第6期で事業をする場合はいただきますと、もう既にしてある土地を買って家を建てる時には通常の下水道料金だけだということですよ。公平ですかね。

事務局

どこの土地に対してもかけさせていただいているものですので、そこでの不公平性はないのではないかと考えています。

委員

わかりました。

会長

その他の方、何かご質問はあるでしょうか。

ないようでしたら、議題の(1)は、終わりとし次に移りたいと思います。

(2) 平塚市下水道中期ビジョン(改訂版)策定について(報告)

事務局(下水道経営課課長代理)

平塚市下水道中期ビジョン(改訂版)策定について、資料3をもとに説明。

会長

ご説明いただきましたけども、皆様の方から何かご質問があれば。

浸水対策についてご説明いただいたのですけども、先ほどその前にもあった重点的に雨水対策と豪雨等に対応するところ岡崎を含めて考えているというようなご説明あったのですけども、現実に現在側溝を掃除したらいけないということになっていますね。豪雨になるとそこへ土も入りますので底に詰まっていると、それも冠水の原因となっているというような所で、金目地区で見ると結構ある。ああいう排水溝というか農業用水が流れるところは、実際、皆さんの

ところが主で考えるのか、道路関係が考えるのか、農業関係が考えるのか、それか何か一度冠水があった時は災害対策課がいち早く情報がわかると思うのですが皆さんの所とのつながり、意見を出し合うとか問題点を検討し合うとか、そういうようなことは現実的にやられているのでしょうか。

事務局

農業用水については農水産課、道路については道路管理課、下水道関連であれば下水道整備課で水路の管理をやっており、所管課はそれぞれ3つの部署があり、やはり全部が全部、連携が取れていないという部分もあります。先ほど説明したとおり、総合浸水対策の中で重点箇所を解決していこうというのが浸水対策の基本的な考え方でございます。平成30年度を目標に対策を講じて軽減を進めようというところがございます。次に平成30年度以降について、やはり同じように5年くらいのスパンを考えて、次に困っている場所をやっていこうと考えております。その中では、やはり下水道だけではございませんので、他の部署とも連携して情報も得ながら、新たな総合浸水としての対策箇所を決めて同じような形で少しずつ解消していくと考えています。

それから、先ほど道路側溝の清掃関係で、もしお気づきのことがあれば言っていただければ、そこの所はどんな状況か確認した中で清掃させていただく形はとっております。

会長

ありがとうございました。

その他、何かありますでしょうか。ないようでしたら、議題の(2)はこれで終わりとさせていただき、議題の(3)、「平成28年度下水道事業決算について」お願いいたします。

(3) 平成28年度下水道事業決算について

事務局(下水道経営課課長代理)

平成28年度下水道事業決算について、資料4をもとに説明。

会長

事業決算について、何か御質問等ございますか。

委員

先ほどご説明いただきました中で、総係費ございますよね。人件費は何%くらいあるのですか。

事務局

汚水雨水を分けたものだと、現状ぱっと出てこないのですが。

営業費用というのが約61億円ある。総係費が1億5500万円ほどあります。

委員

その中から人件費を出しているという、こういう理解でよいか。

事務局

そうです。

会長

その他何かございますか。

委員

営業利益はかなりマイナスが出ている、これについては特に改善の必要はないのでしょうか。

事務局

こちらのマイナスが出ている主な要因というのが、減価償却費が大きく出ているのが一番の原因になっております。営業費用の中で概ね45億程度が減価償却費となっておりますので、こちらを圧縮していくというのが目先の課題となっております。もう一つ、その中の一部、対応する長期前受金戻入があると話させていただきましたが、対応する部分という言い方をしているのですが、減価償却費は営業費用、長期前受金戻入、補助金の収益部分というのは営業外収益に分かれるという仕組みがございますので、なかなか釣り合わない原因の一つとは考えております。

会長

その他、特になければ、議題の(3)についても、終わりとさせていただきます。

最後に、「その他」の項目を設けていただいておりますので、せっかく第一回

でございますので、何かご質問があれば。

(4) その他について

事務局（下水道経営課課長代理）

今年度3、4回の開催を予定しており次回は平成29年10月中に開催予定。日時については後日調整予定と説明。

議題の(3)、「平成28年度下水道事業決算について」、委員より質問があった営業費用総係費内の人件費の割合について、予算ベースになるが1億5000万円ほどと追加回答をする。

会長

よろしければ、これで終わりとさせていただきます。